

平成 28 年度 第 2 回白山会館運営委員会次第

■平成 28 年 9 月 30 日(金)
午後 1 時 30 分～
■白山会館第 1・2 研修室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 事

(1) 平成 28 年度白山会館事業および市民啓発事業の中間報告について

(2) 白山会館事業についての意見交換

(3) その他

4 その他

5 閉 会

平成 28 年度（4 月～8 月）白山会館事業報告

※報告は 8 月末までの実績です。

□白山会館事業

1. 人権教育推進事業

①小中学生学習会

小学生学習会（5 人）水曜・金曜開催、午後 5 時～午後 6 時 30 分

開催回数 20 回 述べ参加人数 123 人（ほか、講師 52 人）

※学習会の参加人数には、対象児童だけではなく、ほかの町内会の小学生（対象児童の友人）も含まれています

中学生学習会（7 人）火曜・木曜開催、午後 7 時～9 時（10 月から午後 6 時 30 分～8 時 30 分）

開催回数 21 回 延べ参加人数 98 人（ほか、講師 44 人）

②市内学校教職員現地学習会

小学校 52 校（593 人）※附属小学校を含む

中学校 23 校（286 人）※附属中学校を含む

高等学校 5 校（58 人）

③市外学校教職員現地学習会

小学校 30 校（332 人）

中学校 16 校（182 人）

高等学校 3 校（25 人）

特別支援学校 2 校（32 人）

④市町村行政・県行政・他団体等現地学習会

上越教育事務所（37 人）

⑤人権に関する図書・ビデオの設置

○購入数 ・図書 17 冊（別紙）

○蔵書数 ・図書数 448 冊 ・ビデオ、DVD 数 42 巻

⑥その他

○ すぎ笠づくり講座（小千谷市そなえ館）7 月 19 日（火）

61 人（東本町小学校児童 57 人 引率教員 4 人）

2. 地域交流事業

○ バスハイキング（シーサイドパーク名立）6 月 5 日（日）65 人 ※27 年度 56 人参加

○ もちつき大会（白山会館）12 月第 2 週の土曜または日曜予定 ※27 年度 61 人参加

3. 貸館事業

利 用 内 容	回数（回）	人数（人）
白山会館運営委員会	1	15
小中学生学習会	41	323
現地学習会	44	1,688
運動団体	5	59
町内会、子ども会等	10	76
合 計	101	2,161

□市民啓発事業

1. 研修会の開催

①人権を考える講話会

※市内の小学校区を単位に、年17小学校区（3年で全小学校区を一巡）で実施。

回	開催日	小学校区	参加人数	回	開催日	小学校区	参加人数
1	6/10（金）	牧小学校	30	10	9/14（水）	谷浜小学校	22
2	6/11（土）	保倉小学校	55	11	9/27（火）	末広小学校	32
3	6/16（木）	大町小学校	25	12	10/24（月）	上下浜小学校	
4	6/23（木）	戸野目小学校	16	13	11/15（火）	上杉小学校	
5	6/29（水）	春日新田小学校	60	14	11/15（火）	高志小学校	
6	7/8（金）	大和小学校	33	15	11/18（金）	八千浦小学校	
7	9/7（水）	大瀧小学校	25	16	11/18（金）	黒田小学校	
8	9/8（木）	山部小学校	20	17	12/9（金）	富岡小学校	
9	9/10（土）	直江津南小学校	25				

2. 講師派遣事業

回	開催日	要請団体	参加人数
1	5/13（金）	高田北城高等学校	26
2	5/19（木）	高等学校人権教育・同和教育担当者研修会	95
3	6/23（木）	針小学校	25
4	7/25（月）	高田特別支援学校	85
5	9/28（水）	柏崎総合高等学校	30
6	11/8（火）	妙高市教育委員会	
7	11/8（火）	吉川特別支援学校	

3. 研修会への参加（次ページ）

内容			場所	参加 人数	
5月	15日	日	部落解放同盟新潟県連合会第33定期大会	新潟市	4
6月	30日	木	東日本研究集会（1泊2日）	群馬県みなかみ町	3
7月	26日	火	人権・同和センター養成講座参加	魚沼市	3
8月	4日	木	新潟県同和教育研究集会	妙高市	8
	27日	土	関東女性大会（1泊2日）	群馬県みなかみ町	1
9月	13日	火	人権・同和センター養成講座参加	柏崎市	4
	21日	水	人権・同和センター養成講座参加	上越市	3
10月	1日	土	部落解放第33回新潟県研究集会	魚沼市	5
	12日 13日	水 木	上越市教育委員会同和問題現地研修会	白山会館	
11月	4日	金	社会同和教育市町村巡会研修会	妙高高原中学校	
	18日	火	同和教育研修会	東本町小学校	
	29日	火	「いのち・愛・人権」展	南魚沼市	
12月			もちつき大会	白山会館	
1月	15日	日	解放同盟上越支部旗びらき	高陽荘	
2月	4日	日	部落解放新潟県連合会旗びらき	新潟市	

資料 2

平成 28 年度購入 白山会館所蔵図書			
No	書 籍 名/DVD	出版社	著 者
1	多様性の学級づくり	解放出版	森 実
2	結婚差別-データで読む現実と課題-	解放出版	奥田 均
3	明治維新と被差別民	解放出版	北崎 豊二
4	教科書無償	解放出版	「教科書無償」編集委員会
5	江戸の貧民 (文春新書)	文芸春秋	塩見鮮一郎
6	江戸の賤民	明石書店	石井 良助
7	知っていますか? 戸籍と差別一問一答	解放出版	佐藤 文明
8	うさこちゃんとたれみみくん	福音館	ブルーナ
9	いじめっこ	あすなろ書房	ローラ・バックカロ・シーガー
10	となりのたぬき	すすき出版	せな けいこ
11	ぞうのエルマー	B L 出版	デビット・マッキー
12	入門 被差別部落の歴史	解放出版	寺木 伸明・黒川みどり
13	レイシズム ヘイト・スピーチと闘う	解放出版	反差別国際運動日本委員会
14	部落解放を考える	解放出版社	友永健三
15	芸能入門・考～芸に生きる～	明石書店	小沢 昭一・土方 鉄
16	穢れと神国の中世	講談社	片岡 耕平
17	ヘイトスピーチとは何か	岩波書店	師岡 康子

白山会館小中学生学習会について

【経緯】

白山会館は、1972（昭和 47）年に設置され、上越市の同和対策事業を推進し、地域住民の社会教育活動を助長し、もって同和問題の解決に寄与するための施設であり、また上越市における解放運動の拠点となっている。

白山会館を会場として、昭和 50 年代前半に、「学力保障」と「差別に負けない力を育てる」ことを目的に、小中学生学習会を開始。

【現状】

小中学生学習会開始から現在までの間に、小中学生学習会では進路につながる学力保障、地区では「差別に負けない力」を育てるとい話し合いが行われ、この分担で続けられてきた。

学習会対象である地区在住の子どもや親せきの子どもだけではなく、ほかの町内会の子ども（対象の子どもの友人）も参加しており、子ども同士の間で隔たりがなくなっている。

【教育委員会の方針】

上越市においては、学校・地域・行政ほか様々な組織で同和問題の解決、差別解消への取り組みが行われているが、いまだそれらの問題が解決しきれていない社会の現状があり、子どもたちを取り巻く環境にはきびしい一面がある。

教育委員会では、進路保障にむすびつく基礎学力をつける学力保障と、友達や仲間同士が集まれる場所、励ましあえる仲間づくりの場所として、小中学生学習会を継続して実施する。

※白山会館運営委員会は、役員改選があり 2 年で委員が変わるので、年度初め等の機会に小中学生学習会を含め白山会館事業について話し、意識の共有を図る。

参 考

○平成 18 年度第 4 回白山会館運営委員会（平成 19 年 2 月 13 日開催）での協議状況

- ・「どうしてこの地域だけ学習会を行っているか」に対する回答について
誰に対しても答えられるような、共通マニュアルは難しい。質問してきた人の人権感覚、意識、背景によって回答も異なる。
- ・協議の中で挙げられた 4 通りの質問と回答
 - ①「ここだけ学習会をやっていてうらやましい」という意味を含んだ質問
→「あなたも来てみたらどう？」と呼びかけ
 - ②素朴な「どうして」、自分たちの地区でもやってほしいという要望を含めた質問
→この機会に、被差別部落の歴史や、差別の実態を話し、問題解決のための取り組みであることを説明。
 - ③悪意ある質問（同和問題、差別問題があるということを知っている質問）
→「市の条例と施策にのっとって行われている」
 - ④地区内の子どもからの質問
→「あなたに勉強をしてもらったり、みんなと仲良くなってもらいたいからやっている」